

歯科保健事業の取組について

1 令和2年度の取り組み

- ・成人歯科健診（20歳から70歳まで、5歳ごとに実施）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5・6月は実施せず、7月から開始しました。

40歳(11月末まで未受診)の方へ受診勧奨ハガキを送付しました。(送付時期：12月、3,898通)

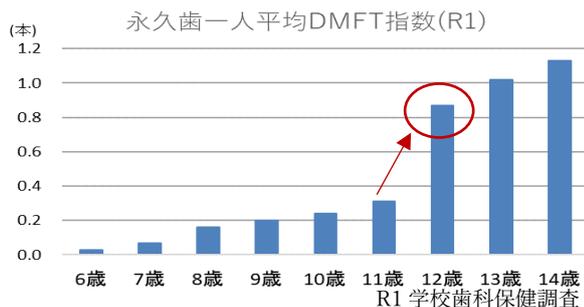
2 成人歯科健診結果（全対象者）

- ・受診率は前年度と比較し1.1ポイント低下しました。健診結果の内訳（異常なし・要指導・要精検）は前年・全前年度とほぼ同率でした。

	対象者数			受診者数			受診率			健診結果		
	対象者数	男性	女性	受診者数	男性	女性	受診率	男性	女性	異常なし	要指導	要精検
平成30年度	46,338	23,427	22,911	2,588	749	1,839	5.6%	3.2%	8.0%	6.0%	26.3%	67.7%
令和元年度	46,249	23,456	22,793	2,823	822	2,001	6.1%	3.5%	8.8%	6.0%	25.4%	68.6%
令和2年度	44,518	22,589	21,929	2,205	641	1,564	5.0%	2.8%	7.1%	5.9%	25.8%	68.3%

3 歯科保健の課題と今後の取り組み

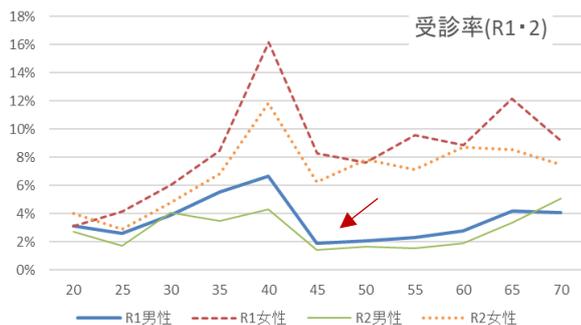
①年齢別 DMFT 指数*の推移(単位：本)



永久歯が生えそろう12歳のタイミングで、DMFT 指数*が急増。

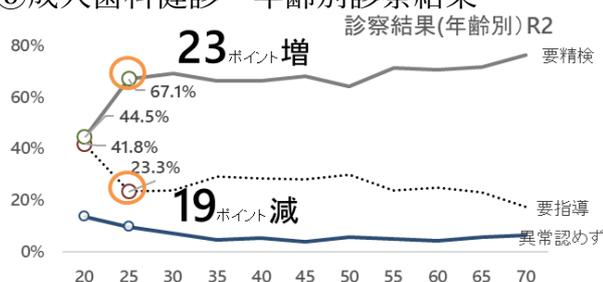
*DMFT 指数(=被検者全員の DMF 歯の合計/被験者数)
D 未処置歯、M う歯が原因の喪失歯、F う歯が原因で処置された歯、T は permanent tooth-surface の略。

②成人歯科健診 性別・年齢別受診率



受診状況に性差があり。男性の受診率が女性に比べて全体的に低い。

③成人歯科健診 年齢別診察結果



20歳から25歳では、要精検率が22.6ポイントの増加、要指導は18.5ポイントの減少。

➡ ①12歳のDMFT 指数の増加、②男性の低受診率、③20歳から25歳の要精検率の増加について関係者と要因を探っていく。